

## 講習会・勉強会活動報告

テーマ：「運転リハビリテーション～高次脳機能障害を中心に～」

講師：目白大学保健医療学部作業療法学科

准教授 藤田 佳男 先生

日時：平成27年7月10日 17:00～19:00

内容：講義

参加人数：約90名

今回は、自動車運転に関して一般高齢ドライバーと高次脳機能障害者の状況を、実際の事例を通してご紹介いただきました。また、法制度や教習所との連携のポイントについて等、様々な視点からご講演いただきました。



まず、運転という作業に焦点をあて、運転に必要な認知的側面や運転の持つ意味についてお話いただきました。その後、事例を通して運転支援の流れや、高次脳機能障害の運転場面への影響等を、具体的に説明していただきました。その中で、一般高齢ドライバーの中にも少なからず認知面の低下のある人がいる実情を踏まえ、運転可否の判定基準を考える前に、まずはリスクを的確に評価することの重要性を学びました。

次に、法制度や自動車運転をとりまく社会情勢についてお話いただきました。昨今のてんかんや内服薬に対する対応、診断書作成における注意点等、具体例を挙げながら詳しく説明していただきました。また、教習所との連携のポイントや運転指導のポイントなど、先生の私見を交えながらご講義いただき、運転支援を行う際の多くの視点を学ばせていただきました。



運転リハビリテーションに関する取り組みは、まだまだ確立されていないのが現状です。また、運転はその目的や必要性、地域性等によっても、求められる能力に大きな違いがあります。今回の講義で、その人の運転という作業に焦点をあて、包括的に取り組む重要性について学ぶことが出来ました。

最後に、藤田先生には限られた時間の中で多くの視点からご講義いただきまして、誠にありがとうございました。

(文責 作業療法課長 田中 伸二)